

## ひめじ創生戦略の数値目標について

(2021年3月末時点)

	基本目標	a.達成	b.未達成	c.最新数値 未確定
1	地域経済を活性化し、安定した雇用を創生	4	3	
2	学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生	2	5	1
3	生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生	3	4	
4	出産、子育てにやさしい社会を創生	2	6	1
5	播磨の中核都市として魅力ある都市・圏域を創生	7	2	1
	合計	18	20	3

基本目標	数値目標	戦略策定時(2014年度)	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末	2020年度末	目標値の達成率	目標値(2020年度末)	数値の理由等
1 地域経済を活性化し、安定した雇用を創生	1 製造品出荷額等の全国シェア(直近5年平均)	0.72%	0.74%	0.74%	0.75%	0.75%	0.74%	-	b 28.6%	0.79%	製造品出荷額等の額の推移は、2018年までは国県市とも増加傾向であったが、2019年より消費税引き上げに伴い景気減速の傾向がみられる。
	製造品出荷額等の県内シェア(直近5年平均)	14.70%	15.06%	15.12%	15.29%	15.09%	14.89%	-	14.0%	16.06%	
	2 従業者数(製造業)	46,050人	46,540人	44,640人	46,842人	48,075人	48,424人	48,838人	a 106.1%	46,050人	姫路市に従事する就業者のうち、2割以上が製造業に従事しており、2018年より増加傾向にある。
	3 工場立地件数(工場立地促進制度の適用件数)(3か年度平均)	27件	30件	35.3件	36件	40件	39件	37件	a 125.0%	35件	2013年度までの指定件数は年20件程度で推移していたが、2014年度に投資額の要件を緩和したことで、指定件数が年30件以上に増加した。
	4 創業者に対する支援数(5年度間累計)	73人	106人	121人	161人	139人	141人	111人	a 112.2%	600人(5年度間累計)	商工会議所内にある創業ステーション等の相談機能も創業者・創業予定者に周知されてきている。
	5 工場用地ライブラリー制度の登録件数	8件	12件	7件	12件	1件	6件	2件	b -300.0%	10件	工場用地ライブラリーに登録される前に、用地所有者(供給側)と企業(需要側)との間で、売買が成立するケースが増加していると考えられるため。
	6 市立3校の就業体験の生徒数	82人	87人	146人	149人	57人	123人	6人	b -422.2%	100人	新型コロナウイルス感染症の影響により、看護医療体験が減少し(姫路医療センター附属病院にて6名)、介護体験、インターンシップバスツアー、企業・大学・学生マッチングin Himejiが中止となったため、参加者数が大きく減少した。
7 「豊穡の国・はりま」ブランド登録団体数	-	46団体	55団体	61団体	66団体	66団体	66団体	a 105.3%	65団体	未登録者の働きかけに加え、五つ星ひょうご県認証食品の取得について、事業者への働きかけを行ったことにより、順調に推移している。	

網掛けの「b」はコロナの影響を大きく受けたKPI  
達成率の計算方法: 原則として戦略策定時数値から目標値までの進捗状況を百分率で表示  
(最新数値－戦略策定時数値) ÷ (目標値－戦略策定時数値) × 100

基本目標	数値目標	戦略策定時(2014年度)	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末	2020年度末	目標値の達成率	目標値(2020年度末)	数値の理由等
2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生	8 東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)・大阪府への転出超過数	560人	825人	1,064人	930人	758人	994人	-	b -77.5%	0	改善のきざしが見られていたが、2019年は悪化した。新型コロナウイルス感染症の影響を注視する必要がある。
	9 総入込客数	9,148千人	11,902千人	10,266千人	9,873千人	9,149千人	9,277千人	(集計中)	c	10,000千人	2020年度は集計中。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により減少が見込まれる。
	10 姫路観光コンベンションビューロー「ひめのみち」アクセス数	1,229千件	1,613千件	875千件	906千件	969千件	598千件	379千件	b -497.1%	1,400千件	新型コロナウイルス感染症の影響によりアクセスが減少した。
	11 ジュニア姫路検定の参加者数	1,912人	1,894人	1,561人	1,699人	2,297人	2,578人	-	a 354.3%	2,100人 (2019年度目標)	検定の実施回数が年間66回から81回に増えたため参加者は増加した(ジュニア姫路検定制度は2019年度で終了)
	12 コンベンション等の開催支援数	71件	69件	79件	69件	83件	77件	2件	b -363.2%	90件	新型コロナウイルス感染症の影響によりコンベンション開催件数が減少した。
	13 観光案内所(姫路観光ナビポート)での外国人観光客対応者数	10,872人	26,370人	23,868人	28,489人	27,591人	25,631人	537人	b -60.3%	28,000人	国のビジット・ジャパン事業などと連動した本市のインバウンド事業推進により、訪日外国人観光客が増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、年間を通じて来訪者が激減した。
	14 地域おこし協力隊の受入人数(2016年度以降の累計値)	-	-	1人	2人	3人	3人	6人	b 75.0%	8人	2016年度1名、2017年度1名、2018年度1名 2020年度1名、県版2名、2021年度1名
15 女性を対象とした就労支援メニューの参加企業数	-	-	-	37社	33社	20社	14社	a 140.0%	10社	女性が就労継続しやすい企業の調査開拓を行い、企業に対し事業説明会を開催し、本事業の趣旨を理解してもらったうえで参加を募っている。	

網掛けの「b」はコロナの影響を大きく受けたKPI  
達成率の計算方法:原則として戦略策定時数値から目標値までの進捗状況を百分率で表示  
(最新数値－戦略策定時数値)÷(目標値－戦略策定時数値)×100

基本目標		数値目標	戦略策定時(2014年度)	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末	2020年度末	目標値の達成率	目標値(2020年度末)	数値の理由等
3 生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生	16	高齢者(65～74歳)の有業率	30.60%	-	-	33.11%	-	-	-	a 179.2%	32.00%	就業構造基本調査
	17	健康寿命(男性)	77.84歳	77.99歳	78.76歳	78.49歳	78.33歳	79.02歳	79.05歳	a 121.0%	1年延伸	健康寿命の算定には姫路市及び全国の人口、死亡数、要介護者数、生命表等さまざまな要素が関係しており、対策がすぐに効果として反映されにくい、男女ともに、戦略策定時数値と比べると延伸しており目標値を達成できた。
		健康寿命(女性)	82.45歳	82.87歳	83.46歳	83.44歳	83.65歳	83.42歳	83.58歳	113.0%	1年延伸	
	18	生涯現役人材バンクの活用件数	46件	59件	72件	76件	81件	110件	37件	b -26.5%	80件	新型コロナウイルス感染症の影響により、依頼件数が減少した。
	19	シルバー人材センターの会員数	3,265人	2,984人	2,832人	2,737人	2,660人	2,546人	2,365人	b -276.9%	3,590人	定年延長、継続雇用制度の導入等が定着したこと及び障害者の法定雇用率上昇による減少と推測される。今後説明会の回数増やPRIに努め増加を図る。
	20	ニュースポーツ普及事業助成数(H29年度以降の平均値)	33.7校・地区	38.2校・地区	43.0校・地区	43.3校・地区	42.0校・地区	40.7校・地区	-	b 75.2%	43.00校・地区 (2019年度目標)	各校区へ実施の呼びかけを行っているが、老人クラブ数が減少している。(2020年度より補助メニューを見直し実施している)
	21	介護予防自主活動グループ数	197グループ	289グループ	367グループ	416グループ	451グループ	465グループ	473グループ	b 85.4%	520グループ	既存グループの活動支援にも力を入れているため、新規グループ数の伸びは前年度より少ないものの、増加している。
22	要介護・要支援認定者に占める要介護認定者数の割合	63.20%	62.50%	62.10%	61.57%	60.75%	59.06%	58.07%	a 201.2%	60.65%	要介護認定者より、要支援認定者と介護予防日常生活支援総合事業対象者の合計の方が伸び率が高いため。 ※要介護・要支援認定者数は、同認定者数に、介護予防日常生活支援総合事業の事業対象者数を加えた数	

網掛けの「b」はコロナの影響を大きく受けたKPI  
達成率の計算方法:原則として戦略策定時数値から目標値までの進捗状況を百分率で表示  
(最新数値－戦略策定時数値)÷(目標値－戦略策定時数値)×100

基本目標	数値目標	戦略策定時(2014年度)	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末	2020年度末	目標値の達成率	目標値(2020年度末)	数値の理由等
4 出産、子育てにやさしい社会を創生	23 合計特殊出生率	1.55	1.57	1.53	1.55	1.50	1.49	-	b -60.0%	1.65	低下の原因として、未婚化・晩婚化と有配偶出生率の低下が考えられ、特に若い世代での未婚率の上昇や初婚年齢の上昇が課題である。
	24 女性(30～39歳)の有業率	67.20%	-	-	71.14%	-	-	-	a 103.6%	71.00%	順調に増加している。
	25 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度	46.20%	-	48.80%	-	-	-	-	b 10.9%	70.00%	認知度は上昇したものの大きな変化はなかった。今後も啓発に努めていく。
	26 妊婦本人への面接率	96.80%	96.90%	96.60%	97.04%	96.54%	97.20%	96.54%	b -8.1%	100.00%	妊婦自身の体調不良や仕事のため、面接率の変動はある。未面接者は、後日電話や訪問等で状況確認に努めている。
	27 保育所等利用待機児童数	69人	46人	126人	185人	165人	122人	未集計	c -	0人	昨年度は、計画に基づく施設整備等により、提供体制の確保を進めたことで減少傾向にある。
	28 ファミリーサポートセンターの提供会員及び両方会員数	718人	760人	787人	823人	841人	860人	835人	b 88.6%	850人	順調に推移していたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、講習が実施できず減少となった。
	29 コミュニティ活動イベント開催助成事業の実施地区数	64地区	62地区	63地区	66地区	69地区	69地区	40地区	b -300.0%	72地区	新型コロナウイルス感染拡大により地域イベント等が中止されたため、助成事業の実施地区数が大幅に減少している。
	30 スクールヘルパーへの登録者数	15,887人	16,804人	16,700人	16,804人	16,547人	17,050人	17,095人	a 1,069.0%	16,000人	児童数は減少しているが、地域による安全・安心な学校への取り組みが学校やPTA等の広報によって周知されたことが増加につながっていると考えられる。
31 ワーク・ライフ・バランスに関する講座・講演会の回数	8回	6回	6回	7回	9回	10回	7回	b -50.0%	10回	新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされた講座があったものの、2020年度はワーク・ライフ・バランスに関する講座・講演会を7回実施。講演会では、多世代に向けて啓発することができた。	

網掛けの「b」はコロナの影響を大きく受けたKPI  
達成率の計算方法: 原則として戦略策定時数値から目標値までの進捗状況を百分率で表示  
(最新数値－戦略策定時数値) ÷ (目標値－戦略策定時数値) × 100

基本目標	数値目標	戦略策定時(2014年度)	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末	2020年度末	目標値の達成率	目標値(2020年度末)	数値の理由等
5 播磨の 中枢都市 として魅力 ある都市・ 圏域を創 生	32 播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンに定める連携事業の進捗率	—	50事業/53事業	53事業/53事業	53事業/53事業	53事業/53事業	53事業/53事業	—	a 100.0%	100%	全事業着手済み
	33 公共交通機関の乗車人員(1年間に公共交通機関に乗車した人員の1日平均)	156,102人	161,070人	162,677人	165,237人	167,502人	168,035人	未集計	c —	167,502人	2020年1月以降については新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて大幅に減少する見込み。
	34 中心市街地の居住者数(過去5年度間の平均値)	8,732人	8,842人	8,923人	9,237人	9,581人	9,955人	10,306人	a 185.4%	9,581人	姫路駅周辺整備などの効果で、まちなか居住の魅力が向上したことにより、民間事業者によるマンション建設が相次いで進められたことから、目標値を大きく上回った。
	35 播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンに定める連携事業の進捗率(再掲)	—	50事業/53事業	53事業/53事業	53事業/53事業	53事業/53事業	53事業/53事業	—	a 100.0%	100%	全事業着手済み
	36 空き家バンク登録物件数	—	11件	23件	25件	34件	51件	66件	a 165.0%	40件	順調に推移している。
	37 買い物支援サービス事業の利用者数	22人	43人	59人	60人	63人	59人	58人	a 109.1%	55人	順調に推移している。
	38 地域活動に対する支援(地域防災訓練)件数	503件	458件	645件	510件	554件	525件	277件	b -114.7%	700件	各自主防災会へ訓練を実施するよう呼びかけているが、新型コロナウイルスの影響により実施を控える団体が多かった。引き続き、資機材交付を行うなど防災訓練の促進に努める。
	39 中心市街地商店街の空き店舗減少数	37店舗	36店舗	34店舗	36店舗	31店舗	35店舗	50店舗	b -144.4%	28店舗	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、観光客が大きく減少したことや、姫路駅周辺の商業施設への来街者を、十分に商店街エリア等へ誘引できなかったことにより、大幅に増加した。
	40 地方創生にかかる意見聴取者数	—	—	89人	167人	217人	338人	421人	a 105.3%	400人	申込者 2016年度104名、2017年度106名、2018年度(深堀り会議)を2回50名、2019年度121人、2020年度83人
41 行政情報分析基盤を活用する組織数(H29年度以降の累計)	—	—	2部署	4部署	7部署	10部署	13部署	a 144.4%	9部署	特定健診受診者状況分析、マイナンバー取得状況分析、市営住宅の最適化分析、中心市街地人口推移の抽出などに活用	

網掛けの「b」はコロナの影響を大きく受けたKPI  
達成率の計算方法:原則として戦略策定時数値から目標値までの進捗状況を百分率で表示  
(最新数値－戦略策定時数値)÷(目標値－戦略策定時数値)×100